

宝川で餅づくり 37 年、女性の活躍を後押しする！

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



事業者名 宝川みさこ餅会
(秋田市)

代表者 木山 美佐子

経営概況

経 営 | 餅加工製造
商 品 | あんびん、大福、草餅、おやき、ごま餅、笹まき、あられ、あんこ、きなこ等
従 業 員 | 10 名
販 売 先 | JA 直販所、県内スーパーマーケット等

秋田市の宝川地域で米作りに携わり、地元の良質な水と土壌に触れた経験から、そこで採れた食材を利用し、化学調味料や保存料を使わない、無添加にこだわった餅を作っている女性がいます。地域で女性の雇用を創出し、女性が活躍する場の仕組みづくりにも取り組んでいます。

▶ きっかけ

代表の木山さんは、結婚を機に嫁ぎ先で家業の米作りに挑戦しましたが、それだけでは物足りないと感じました。秋田といえば「米」。米を原料に何か作りたいと思い、餅に目をつけ平成元年に近所の友人と加工所を造り、地元の農家のもち米を使用した餅作りを始めました。



商品のあんびん(よもぎ、かぼちゃ、黒豆)

は季節ごとにかわります。

日ごとに売れる個数を記録しており、それに基づき、商品の作る数を決めます。餅の作り方については、「時間はかかるが餅に習うしかない。ご飯を作ってきた人ならきっとできる。」と話されました。

取引先は、コンビニへの飛込み営業を皮切りに、JAの直売所など徐々に販売先を確保してきました。

平成 18 年に秋田市地域特産品の認定を受け、さらに地元のスーパーなどにも取引が広がったため、平成 24 年に加工所を拡大し生産量を増やしました。

▶ 受賞

木山さんは、宝川地域で農業に携わったことで、餅づくりを思いつき、いろいろな所に営業をしてきました。また、餅を作り続けたことで、地域の雇用を創出

し、女性の活躍を後押ししてきました。

こうした長年の活動が、農業分野のみならず、経済分野での男女共同参画の推進に貢献したとして評価され、平成 27 年に「秋田県男女共同参画社会づくり表彰(ハーモニー賞)」を受賞、さらに平成 28 年に「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

受賞に関しては「家族の心強い理解と協力があつたから」と話されています。

▶ これから

定番商品に加え、ノンフライの「あられ」を製造し販売したところ、県内外で好評を得たことなどから、会の皆さんの協力を得て、今後も体力が続く限り続けていきたいと話されました。



●加工所での餅菓子作り

▶ 取組

従業員は近所の主婦を中心に 10 名。「宝川みさこ餅会」の会員として雇用し、各自の都合に合わせた勤務表にしています。今年初めて男性を雇用しました。

作業は、朝4時にもち米を蒸し、5時半から作り始め、8時半までにその日の出荷分を作り終えます。無添加であるため日持ちがしないので9時には作りたての商品を配送します。午前中には、翌日の仕込みも終えます。「あんびん」などの餅は、全部で 20～30 種類作っており、内容



●宝川みさこ餅会のみなさん

(●写真: 宝川みさこ餅会提供)



東北農政局秋田県拠点